

生 活

〔第一回〕

吉峰 正人



氣配に気づき、振り返った時、すでに一発目のこぶし
が下顎にぐい込んでいた。二発三発、すぐそばにあつた
電柱に寄りかかり、体をかわす。身構える。が、ファイ
ティングボーズをとり終わらないうちに、四発目が鼻を
碎く。鼻の骨が衝撃の裏側に崩れ落ちてきたような感じ
である。五発六発、連続して降つてくる。パンチに上体は
そり返つたままだ。体勢をたてなおすこともできない。
そこを狙つて誰かが背後からかかえ込む。レスリングで
いうフルネルソンの型で、ぼくの体はがっちりと締めつけ
られている。

相手は何人いるのか。一人ではなさそうだ。暗がりの

中でいくつかの気配が動く。顔ははつきり見えないが男
であることにはまちがいはない。すぐ横は県道だ。車の騒
音がここまで聞こえてくる。排気ガスが臭つてくる。そ
こまで逃げればなんとかなりそうだ。県道に沿つた側道、
しかし、こう暗くては始末が悪い。背の高い草が県道か
らのあらゆる光をふさいでしまつている。こんなところ
に、何故こんなものが生えているのか。
だが、負けてはいられない。何事か知らないが、身に
降る火の粉は払わにやならぬだ。背後からからんできた
奴を腰に乗せ、背におぶり、イヤツ！ 気合いを入れ、
後ろ手にパンザイで締めつけられている腕を、頭の上か

ら胸へ、腹から足の先へ半円を描いて振り降ろす。背負い投げ、或は腕投げ。投げ飛ばす……が、そう簡単に、鮮やかに決まるものではない。逆に体を浴びせられ、ぼくは敵を背負つたまま腰砕け。咄嗟に両手をつき、踏んばる。が、だめ。腕が肘のところで逆に折れ曲がるようにはずれ、腹、ペニス、胸、下頸、鼻の順で地面に叩きつけられる。

腹の肉が裂け、ペニスが骨折している。顎の骨が鼻をつきあげ、その先は眼球に突き刺さっている。歯が多量の砂を噛んでぐらつき、鼻血がそれを汚している。『誰だ？』『何をする？』言う間もなく、倒れているぼくの上に、二、三人がなだれ込む。ほんの数分の出来事だった。気がつくと、口にはさるぐつわが、両腕は後ろ手に腰のあたりで縛られ、目くじらがされていた。

「よし、急げ！」声帯が粉々につぶれ、その粒子が集まつてできあがつたような聞き苦しい声が、ぼくの頭の上です。耳栓はされなかつたようである。ぼくは起こされる。つかがぼくのベルトをつかみ、引きあげる。

「さあ歩け！」同じ声。しかし、立ちあがつても体をうまく支えることができない。自分の体であるという気がしない。どこかふわふわしていて定まらない。六発のこぶしが、体の重心をどこかへ叩き飛ばしてしまったようである。

これではいけないと想い、自分の顔や体の所在を確かめる。が、指でそれらをいちいちなぞる自由はきかない。意識と勘で発見するより方法はない。あやふやなものだが、この際、仕方がない。

まず顔だ。至めたり笑つたりして、その筋肉を動かしてみる。しばらくつづける。下顎を地面に思いきり叩いたので、少々位置がずれているかもしれないが、今のところ、だいたいの場所にあるようだ。六発のこぶしが残していく痛みと熱気が顔の所在を教えている。口の中が今までの三倍くらいの大きさにふくれあがつてい

る。欠けた歯やつぶれた歯茎でその中はいっぱいだ。砂や小石も混ざっている。それらを吐き出したいと思うがさるぐつわにふさがれていてどうにもならない。血や唾も一緒になって、口の中は奥まで生臭く、不快の風になつていて。ネズミか何かの小動物の死骸を食べたらきっとこんな感じだろう。鼻腔に生ぬるい棒状のものが突き刺さっている。鼻血が固まっている。息をするのも苦しめ。小さな二つの穴だけで生きているようなものである。息を吐くたび鼻の壁にこすれ、ピヨピヨと鳴る。眼は見えないということでその所在は明確である。胸や腹は叩きつけた時の打撲傷がしきりに痛んでいるので、それとわかる。腕はロープか繩のようなものでしっかりと結びあわされている。腕の先には掌や指がくつついでいるはずである。どうしたことか、先程からペニスがびくついでやめない。なんとか一応は揃つて立っていることができない。人間が立つて歩けるのは、ある思考と納得に頼つてやられるからかもしれない。それがなくなれば、たとえ六〇キロの体でも紙人形のようなものである。倒れそそぐになる体を誰かが腕をとつて支える。反対側にもつきそつているような感じ。それらの気配によつて、ぼくの体は重心を保ちづいて方向が決められた。

「そのまま、まっすぐ歩け！」例の声。映画や芝居に出てくる、ちょっと間のぬけた悪玉のボスの声がいつもこうだ。しかし、この声、ぬけているどころか迫力満点で、威厳のようなものがある。声がするたび、まわりの気配がヒリヒリと動く。

『どうするつもりだ？』ぼくが何をしたというのだ？ボスの迫力に負けずに喋ろうとする。しかし、ぼくのそれはどうしたつて言葉にならない。腹を揺すり、喉をぬつけ、歯を鳴らし……自分では大声でわめいているつもりだが、声は外へ出ていかない。歯茎の裏側あたりに熱い塊りが逆戻りしてくる。

唇を裂き、歯と歯の間、舌を巻いて密着している布切

れは手拭のようである。それは湿っていて、誰かの汗を吸い込んでいる。激しく臭う。吐き気がする。あとからあとから湧きあがってくる唾と胃液を吸収して、それは口の中で重くなっていく。臭いもきつくなる。たつた一本の手拭がぼくの言葉を殺し、思考まであやふやなものにする。

おまけに眼が見えないときている。瞼を押さえつけている布は女物のネットカーチーのようである。いやにツルツルしていて気味が悪い。透き通つていて見えそうな気がする。眼を開ける。やはり何も見えない。これはやりきれない。落ちつかない。目かくしされたことによつて全てが闇であるなら、それはそれでそんなに気にするほどのことはない。何かにつけ、眼あきほどやつからなのはない。しかし、この場合、正確に言えば、少なくとも薄い派手な色をしたその布は見えるのである。じつと見ていると何かが動いているような感じがする。その輪郭もはつきりしないし、位置も一定ではないが、うじやうじやとひつついでいる。あれは何だろう。光の加減か？いや、違う。まわりは暗がりであるはずだ。妄想？ そんなものに悩まされるほど真剣に生きているわけではない。幼虫の大群？ ネットカーチーには人を惑わす秘薬のようなものが塗られているのかもしれない。それを見ているとどうしようもなく苛立つてくる。心細くなつてくれる。幼虫の大群に見えるのは不安のウイルスなのかもしれない。しばらく眺めていると、それは確かな手応えと繁殖力で、ぼくの体のあらゆる部分に侵入してくる。一体どうなっているのか。自分はどこにいて、何をしているのか、これからどうなるのか、そんなことの一つも正確に判断することはできない。が、ともかくも、ぼくは歩いている。どこをどう歩いているのかわからないが、戸惑つたりつまずいたりしないのは両方から支えられているからであろう。歩くのはぼくの意志ではない。ぼくは歩いていない。両腕をかかえられ、宙吊りにされ、運ばれているのである。誰に運ばれているのか、どこへ

連れられて行くのか、何故そうされなければならないのか、わからない。何も思いあたらない。

何一つとしてまとまつた考えが浮かんでこない。ぼく自身、このよくな状態をどう感じているのか、恐怖、戦慄、不安、戸惑い、驚き、腹立たしさ、ばかりしさ、あきらめ……それらのどこにも自分を発見することができない。人に恨まれるようなことはないと思うが、だからといって、襲われ殴り倒されないという保証はなきそうだ。かといって、このまま言いなりになつてしているつもりはないが、どうすることもできないことだつてあるようだ。

風が出てきたようだ。ぼくのすぐそばで草が吠えている。県道を走る車の音が聞こえているのか。いや、そこからかなり遠ざかってしまったようである。

方角が違う、言おうとしてやめる。どうせ声にはならない。手拭の臭さと重きを感じただけである。それでもなくとも口の中はどこかのゴミ捨て場のようになつていてぼくもそこへ捨てられそうである。

それでも帰る道が違うのではないかとぼくは思はない。手拭の臭さと重きを感じただけである。それどころからはじまる。外に出るとそれぞれの路線の乗り場を円形でつないだバス停がある。バスには乗らず、駅前の広場を行くと県道に出る。そこの信号を渡り、しばらく行く。だんだん民家がなくなり、草と鉄塔だけが眼下につく。どこかの不動産屋の看板が背の高い草にもたれるようにして掲げられている。それを越したすぐの小道を入るのだ。そこから正面に見えている、あの石段を上がればいいのだ。

風が強くなる。よく鳴る笛を休まず吹いている感じである。その音からは想像できないほど強さと大きさと形を持つ風。それは一つのはっきりした塊りになつてぼくの顔を叩きつけてくる。痛みが激しくなる。骨が奥の方でうずいている。

どこへ連れて行く気なのか？ そんな問いを厚ぼつた

く腫れあがった唇のまわりでくり返す。返事はない。いつまでたっても考えはそれ以上進展しない。唾液のほとんどを吸収してぶよぶよになつた手拭に、唇はびつたりと貼りついている。湿気を含んで、それはますます臭う。今までそれを使つていた人間がそのまま口の中に入り込んできたような感じである。そいつの重みが喉を締めつけてくる。

ふと、風の音に混ざり、

「あんないい女を捨てて、ぜいたくだぜ。こいつ」いやにドスのきいた声。右腕をかかえている男のようだ。この声にも迫力がある。ボスにしてもおかしくない妻みである。

「やめろ！ 余計なことを言うな」例の声。左側から聞こえる。やはりこれが一味のボスであるようだ。その声によつて気配の動きが変化する。

しかし、もう遅い。ぼくは聞きのがさなかつた。体のどこか一部でも拘束されると、それを補うように他の部

分が動きを活発にする。眼や口や体の自由が奪われたことによつて、耳や鼻や感覚はいつもより敏感になつてゐる。わずかな音にも興味を持ち、どんな匂いにも鼻をふくらませる。今、音と匂いとある感のようなものによつて、ぼくはまわりを見つめ、自分を感じている。

「あんないい女？……あんないい女を捨てて？……誰のことだろ？ 女がどうしたとか？ 女を捨てた？

誰が？ ぼくが？ どういう意味だ？ しかし、また、それから先がわからない。ぼくはうさぎのように尖つた耳に体の全機能の働きを集め、誰かの言葉を待つ。風の中に声を探る。が、それつきり。待つことしかできないのだからはがゆい。こちらから挑みかかれないからじれつた。そばだてた耳が待ちくたびれている。痒くなる。搔くことはできない。ぼくは苛立つ。キーと叫びたくなる。それでもできない。何をかもがすんなりと消化してくれない。一本の手拭に締めつけられ、一枚のネットカチーフにふさがれ、一握りのロープにはね返され奇妙な気分である。

だが、どうあれ、考

えることをやめるわけにはいかない。今のところ、ぼくにはそれしかできない。あんないい女？……妻のことだ

ろうかと思う。女と言えばそれ以外思いあたらない。

ぼくは結婚している。街の占い師が言つたようにそれは恋愛ではなくたつた。『あんた、はなかつた。』恋はできないよ。恐がりだから。人を好きになるとすぐに疲れてしまう。そのしんどさで



少しも前へ進まない。見合いだね。二十八歳頃かな”その予言通り、ぼくは見合いをした。“何をそんなに恐れているのかね。確かにことなんて誰にもわからないんだよ。わかつたような振りをしているだけだ。あんた、今まで随分と逃げてきたね。女泣かせだね。いつまでたつても抱いてくれないって女が泣いているよ”

その時の占い師の言葉が、ぼくの髪の毛の先にでも残つていたのか、見合いをして結婚まで、わずか三ヶ月足らずだった。まだ相手の名前も顔もはつきり覚えていなかつた。デートの時などウロウロして彼女を捜す始末だった。しばらく捜していると誰もがぼくを待っているような気がしてくる。誰かに声をかけなければならぬと思うが、どれがぼくの相手だったのか、自信がない。ぼくはただキヨロキヨロとしているだけである。そうしながら相手が見つけてくれるのを待っていた。彼女より先に誰かがぼくに声をかけていたら、おそらくその日、その人とデートしていたにちがいない。おまえの妻はこの女だと別の人を押しつけられていたとしても、ぼくは気づかなかつたであろう。

今でもその女が自分の妻であることにそんなに自信があるわけではない。帰ればそこにいる、一緒に食事をして、横で眠っている、そんな女を見ていると、ああ妻なんだなあ、やはりと感じる。その女を妻だと思うぼくの判断基準はそれくらいのことである。軽薄だと思われるかもしれないが、それ以外どんな確かな方法があるのだろう。

はじめての夜、女の横にすべり込みながら、ふと、ぼくは落ちつきを失う。見ず知らずの女を無理矢理犯そうとしているように思えてくる。相手の顔を盗み見て、「ほんとうによろしいのですか？」と尋ねる。女を見れば見るほどこのまま黙つて抱こうとしている自分が恐ろしくなつてくる。女の顔に形に、あまり見覚えがないのである。よくわからないのだ。

見合い、恋愛、出会い……いずれにしても、それまで

知らなかつた人とたつたそれだけのことで床を一つにする。あたりまえのようにして衣服をはぎ、体を押しつけていく。そんなことがほんとうに許されるのだろうか。たつたそれだけのこと、そのことにどれほどの意味があるのか。それがなければそれちがつても頭さえ下げない相手ではないか。横に寝そべっている女が妹や姉や母であれば、ぼくはわけなく抱けるかも知れない。

しかし、女は表情一変えず、

「どうぞ、御自由に。遠慮はいりません。あなたのものですわ」と言つて眼を閉じ、息を弾ませる。恐々、ぼくは女の頬に指をあて、軽く上下させ。嫌がる様子はない。指を首筋へ、胸へと移動する。女はキツと眉を寄せ、眉間に二本の深い縦皺を作る。が、逃げだす気配はない。それどころか、腕をぼくの背中にまわし、しがみついてくる。このまま抱いたからといって、殴られたり訴えられたりすることはなさそうだ。女を見ているとなんとなく安心してきて、ぎこちなく悶えるまづげに、ぼくは唇を近づけた。

その日、結局、事はうまくいかなかつた。しかし、女は文句も言わず、温かくなつた体をいつまでも寄せて離れなかつた。

あれは確かに妻であるとぼくは思う。それからというもの、いつもぼくのそばにいる。手を伸ばせばすぐのところにその女はいる。殴ろうが蹴ろうがぼくの自由である。ペロペロなめようがガリガリかじろうが勝手である。無理矢理てごめにしようが何度犯そうが誰も文句を言わない。女を裸にしながら、何故こんなことが許されるのか、どうして誰もぼくを訴えないのかと不思議でならない。時々、自分で告訴したくなることがある。が、自分の思い通りになる人間（特に女）がいつも隣にいることは愉快である。不思議さはいつの間にかどこかへ追い払われてしまつてゐる。即刻告訴はとり下げる。ぼくを恐がりもせず、何をしても嬉しそうにして横に坐り、眠つてゐる女……あれは確かにぼくの妻である。（続く）

神戸の子と
出会いの時

いかけない
ところでお
求めになれ
ます。



小小小楠貝鴨柏嘉嘉金小小岡牛榎石石乾砂青朝
曾比
泉林磯本原居井納糸野根崎尾並阪野野 野木奈
徳芳良憲六 健毅正元一真 吉正春成信豊 重
一夫平吉一玲一六治彦夫造忠朗一生明一彦仁雄隆

外竹津高陳田玉田田武淹淹竹角砂塙新白佐坂後上
島馬高橋 迈井中宮田川川中南田路谷川藤井藤林
健準和 舜聖 健虎繁勝清 猛重義秀 時末英
之 吉助一孟臣子操郎彦郎二一郁夫民孝夫渥廉忠二一

神淀行元百村光宮宮松福深畠野成南難中西西直
戸
青川吉永崎上田地崎井富水 澤瀬部波西脇村木
年
会長哉定辰正顕裏辰高芳惣専幸香圭 太
議 二三
所治女正雄郎司二雄男美吉郎梅三還勝親功郎

★月刊神戸戸子
たい特さま、ま
お友達に、神戸盛
なりたい方は、
み下さい。さつ
1年分 3
★月刊神戸戸子
とうぞ。
芦屋
天村山原
洋宝光南文
書書盛
屋店舗常販
ラ文南北本小甲昭
ン書書盛

毎月お読みになり
神戸を離れている
芦屋市月若町
国鉄本山駅北口
東灘区御門町
阪急六甲駅2階
新聞会館1階
共用区画布引町4
左の本屋さんへ
0円(送料込)
くお送りします。

★発行にいろいろお世話頂いた方々

神戸国際会館
神戸文化ホール
ジョイント・三宮
★神戸市内のホテル
オリエンタルホテル
オリエント神戸
神戸市住田区京町
ニューポートホテル
神戸市葺合区浜通り
ホテル神戸
神戸市葺合区熊内町
ホテル三宮セントラル
神戸市葺合区布引町
六甲山ホテル
六甲市西区六甲山町
六甲オリエンタルホ
灘区六甲山西谷上

| ア
ル
ル |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 0 | 0 | 5 | 5 | 4 | 8 | |
| 3 | 3 | 0 | 4 | 1 | 1 | |
| 3 | 0 | 3 | 3 | 7 | 1 | |
| 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |

★神戸のレストラン
デキシーランド(フ
神戸市葺合区浜辺町
れんが亭(トマ・ロ
キャンディ北店
神戸館 生田新道
ガストロノミ 新異人
★スタンド・ナツ
クラブ小万 生田町
神戸時代 北野町

ラワーロード	4	□	50	7	2	7	7
館通り	□	□	□	□	□	□	□
ク・C・L・U・B	1	5	9	6	1	6	8
門筋中島ビル	3	5	2	9	5	1	8
	5	6					

ご愛読の皆様の
★ 「品品」とい
ふやい
あんた「香り」
大谷美術館で
観た背景は
香りに包まれて
か。あれは、ミ
ハ聴いて帰る
★ 明けましてお
今年はウマ年。
とく飛躍できる
はたまたトント馬

の受賞者発表であり
ご声援をお願いです。
『小泉康大』
うのはなんかな
たら阪画伯『そら
でっせ』「ふーん」
聞かれた小磯良平展
何と心なごんだけな
道と同じ快さだ
『小泉義喜』
めでとうござ
年の天皇が
かうり俊馬か駄馬か
か？ へ川端駄
く

★赤坂東急ホテル
★大阪のホテル
★京都／若王子
★ブティック
がれりや馬亞乃
M A V I E
★神戸の喫茶店
にしむら珈琲中山手
にしむら珈琲センターハ

花くま
金額 1111
ビーキオスク

後編記集

★ 第二回神戸文学賞決定 舟野、吉峰を氏を取るに、してあもるの境地。若輩の及ぶところじやないですね。

▲佐井裕勝／「白いスケッチ」

★ 白いスケッチブックに鉛筆が走る。新しい年のセカンドカバーは西村功画伯のバリのスケッチです。

▲中村雅子／「神戸大のシリーズ」が終了。今後は主に単行本で

後編集



★第一回戸室文学賞決定 豊田正晴・吉野了翁
話術を伺う。おお、とてもいい境地だ。
若華の及ぶところじゃないですね。
新しい年のセカンドカバーは西村功画伯のバージョン。
白いスケッチブックに鉛筆で走り出る。新鮮。
神戸商大のシリーズが終了。高木さん。
学長に感謝。ノコさんも生田神社で巫女にならぬか。
巫女に、おもしろい。なぜなら、ただ完全迷惑感なんであつた。
ませんでしたよ。八川崎路へ。
★あー嬉しい。思つていろいろちやんと明けました。今年こそこの意気込んで、さあ、何からどういかなかろうかな。
★うなづかぬ。山岡田なづか先生。
★★★の意見が威勢よくポンポンでできました新春対談。乾、木村聰博士ともあれ、どうが更けるのも忘れて熱く語りました。
ぐだぎました。△山中環喜子さん。
★成らうとも成らざるものもかくまう。夢を見るのはハッピィなこと。ベガサスに乗って天翔ける夢とか、女たちは夢多きものなのです。
△宮川光世▽

あけまして おめでとう ございます



本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

三宮さんプラザ店にて



★ 英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM 11:00~PM 9:00迄

★ コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM 10:00~PM 9:00迄

バロン

★ コーヒーショップ センター街店
TEL 391-1375 AM 10:00~PM 9:00迄

★ コーヒーショップ 神戸亭 三宮センタープラザ店
TEL 332-6361 AM 10:00~PM 9:00迄

謹
賀
新
年



インテリア・ダイアリイ Jan. 天ぷら・神戸割烹 『お可川』(北野町)

異人館のある町、北野町の高台に完成した天ぷらと割烹の店。全館、老舗の風格を出した和式造りの中で、ここは、気軽に酒を楽しむバーコーナー。構材の渋い色あいがディテールにまで和風の美しさを生かして、落ち着きをそえている。設計施工／入船KK(担当 / 長田拓朗・山本博士)



企画・設計・施工のオールマイティ

入船株式会社

店舗・住宅・家具・室内装飾
一級建築士事務所・特定建設業

阪神電鉄新在家南 TEL. 078(851) 3191代

神戸市灘区新在家北町1丁目1-19 ブリコビル2~3F

●内装材サンプルルーム／ブリコビル2F

●トータルインテリアショップ／グランド六甲ボウルビル
1~2F TEL. 078(851) 2841

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
兵庫駅前店 357-5306

北海道郷土料理 蝦夷
生田区中山手通1-115東門筋東門会館ビル1階
331-7770

和食くれない
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F
331-0494

鍋もの・おむすび
お茶漬・がばた
悟味西
生田区北長狭通1-20
331-3848
三宮さんちかタウン
391-5319

たこ焼
たちばな
三宮センター街(旧柳橋)
331-0572

とうふ料理 東府家
生田区北野町3-53
221-1148

お茶漬・おむすび
ふる里
生田区北長狭通2-1
331-5535

かっぱう吉
生田区加納町3-95-1(ニュージャパン別館前)
241-3450

御食事処鳥光
須磨本店 731-5855 センタープラザ店 331-6948
さんプラザ店 391-3696 三宮東門店 331-4043

新和食処あじびる
阪急三宮駅山側
332-3456

★西洋料理

レストラン アボロン
箕面区八幡通5-6
251-3231

レストラン 鹿皮(あらかわ)
生田区中山手2-9
221-8547-231-3315

ピザ&スパゲティ ガルの店
箕面区琴緒町5-1-7 西山ビル1F
241-9025

ステーキハウス グリル青山
生田区中山手通2-112-21トアロード
391-4858

レストラン クィーンズコート
生田区山本通2丁目31
242-2469

ステーキ&
神戸館
生田区下山手通2-29-3 アマツビル1F
321-2955

スカンディナビア料理
世界の民族音楽の店 ゴックスタッド
生田区山本通3-18 回教寺前
242-0131

GALLERY &
STEAK HOUSE SAN-MON三門
生田区中山手通二丁目98-99
331-5817

Cafe et
Restaurant

アンドウトワ
生田神社西 伊藤ビル1F
391-8639

レストラン
スイスシャレー
生田区北野町3-48アニルドマンション1F
221-4343

レストラン
セントジョージ
生田区北野町1-130
242-1234

レストラン
男爵
生田区中山手1-18
山手第一ビル1F
241-0778

メキシコ小料理亭
ティファーナ
生田区中山手通1丁目4-12 パールゴーボラスビル1F
242-0043

Restaurant
& Lounge
ボナペチ
生田区北野町3-49 BKフロア1F
222-5300

ピザ・パブ
ピザ・パテオ
生田区元町通1-49(元町1番街)
331-9378

フランス料理
ピストロドリヨン
生田区山本通2-40-1
221-2727

ピッタハウス
ピノツキオ
生田区中山手通2-101
331-3545

maison de
la mode
花屋敷
三宮フラワーロード市役所前
251-0315

ボリネシア料理
海賊焼
フック東店
生田区栄町1-5-3
321-3207

レストラン
ムーンライト
三宮・生田新道
331-9554

グリル・鉄板焼
月
元町フルーツホール
元町1番街
331-1987

レストラン
れんが亭
生田区下山手通2-34
331-7168

BARBECUE
& STEAK
六段
生田区元町通3
331-2108

居酒屋
フロス・ヒターノス
生田区下山手通3丁目22
下山手セントラルハイツ
391-5431

レストラン
フック神戸店
生田区栄町2-24
321-3453

炭焼ステーキ
凱旋門
生田区下山手通2丁目6
新道ビル1F
321-3378

ドイツレストラン
ハイデルベルク
生田区山本通2丁目
ローズガーデン2F
222-1424

ポロニア風
生バスターの店
神戸三宮さんプラザ1F
391-5206

シルクロード料理
スパイスレストラン
ぶはら
生田区中山手通1丁目19
クラン山手B1
241-7017

★喫茶
コーヒーラウンジ
City of City
生田区三宮町3丁目2-11
331-1117

ティー&スナック
工ポツク
生田区元町通3(浜側)
331-3694

喫茶
ガーデニア
生田区東町113-1 大神ビル1F
321-5114

宮水のコーヒー
にしむら珈琲店
中山手店 生田区中山手通1-70
221-1872-231-9624

センター街店 生田区三宮町2-35
391-0669

北野店・山本通2-9
242-2467
(会員制) 3F事務所
242-1880

ピアノホール
バックスステージ
生田区三宮町1 サンプラザ10F サンロイヤル
332-0230

珈琲モーツアルト
生田区山本通2-98グランドマンション1F
241-3961

ファッショナブル
グーン
キングスコート
ティーラウンジ ペントハウス
生田区山本通2-111 キングスコート内
242-7090

珈琲
君
生田区三宮町2丁目25(トアロード)
391-1589

★club
club 飛鳥
生田区中山手通1-117
331-7627

club 小万
生田区東門筋中島ビル3F
391-0638-4386

club さち
生田区中山手通2-75
331-7120

クラブ
千
生田区下山手通2-21
391-1077

club なぎさ
生田区北長狭通2-1
331-8626

くらぶ
ぶーげん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
331-8593

club
Moonlight
BAR 331-0886-391-2696
Club 331-0157

グラブるふらん
生田区北長狭通1-53
331-2854

★STAND & SNACK
PUB &
RESTAURANT アップランド
生田区加納町3-1-34
241-8271

サロンド
アルバトロス
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ2F
231-3300

DRINK
IS AN ART OF LIFE ウッドハウス
PRINCIPLES
音楽の家、ETエトワTOI
生田区三宮町3-1 スカイトイアビル3F
神戸アロード三宮センター街西入口
332-1755

純会員制
エドワーズ俱楽部
生田区北長狭通1-28
ホワイトローズビル5-6F
生田新道
391-3300

S N A C K L & M
生田区北長狭通1-25 生田新道ビルB1
321-3070

ナイトイン
おしゃれ貴族
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザB1
242-1925

スナック
蘭の花
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ5F
391-4455

スタンド
かでな
生田区中山手通1-90 英建ビル1F
331-1316

本店洋酒の店
キヤンティ
生田区北長狭通2-3
391-3060-391-3010

北店スープとパンの店
生田区下山手通3-8-9
331-3661

スタンド
グラムール
生田筋岸ビル地階
331-4637

スタンド
くるる実
生田区中山手通1-72
331-6985

サロンド
神戸時代
生田区中山手通1-28
モンシャトウコトブキビル
242-3567

カクテルラウンジ
サンヴォイ
高架山側 テキの店北
331-2615

スナック
山莊
生田区北長狭通1-22
391-5823

music spot サントノーレ
トアロード店 生田区下山手通2トア・コード
391-3822

北野店 生田区中山手通1-24-7
ダイワナイトプラザ6F
221-3886

スナック
レオパル
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ6F
391-0992

DRINK
SNACK
スネカリツ子
生田区下山手通2 永晃ビルB1
391-8708

Wine and
something 珍地理屋
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ1F
242-0288

素舌洞でつさん
生田区北長狭通1-258
331-6778

スナック
ビジービー
生田区中山手2
391-4582

ワイン&ティー
バランタイン
生田区中山手通2-101 大洋ビル2F
321-5677

S T A N D M A S H U K E N A D A
生田区中山手通2-30-1 東門大和ナイトプラザ2F
331-5587

サロンド
パレス小姫
生田区加納町4丁目神三ビル2F
332-1098

ティー&
カクテルラウンジ
ルカカルトン
生田区北野町3-2-67
241-4323

ウエスタンパブ
神戸ホンキートンク
生田区加納町2-30
241-2161

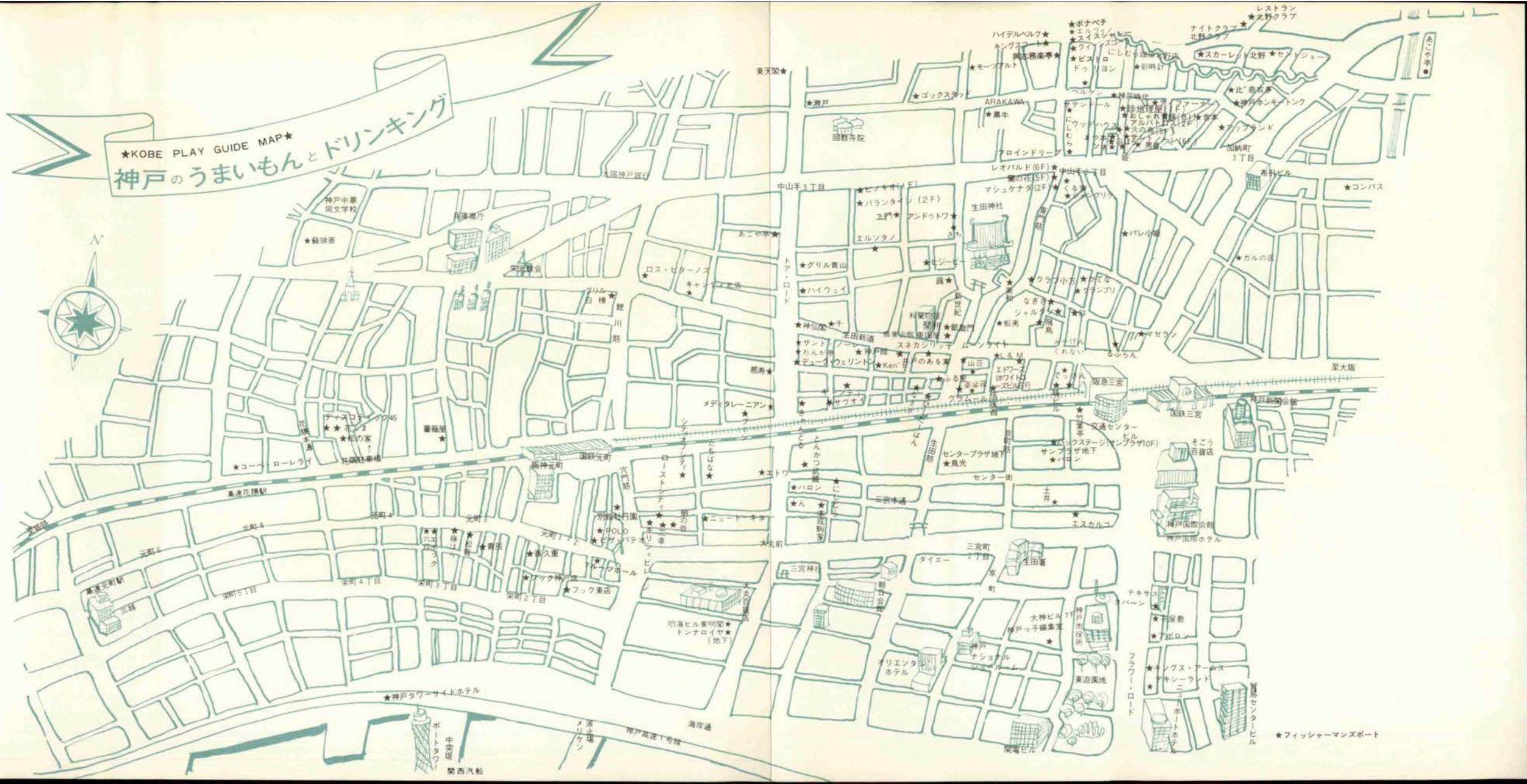
バー
サンデリカ
生田区中山手通1-90
392-1434-6

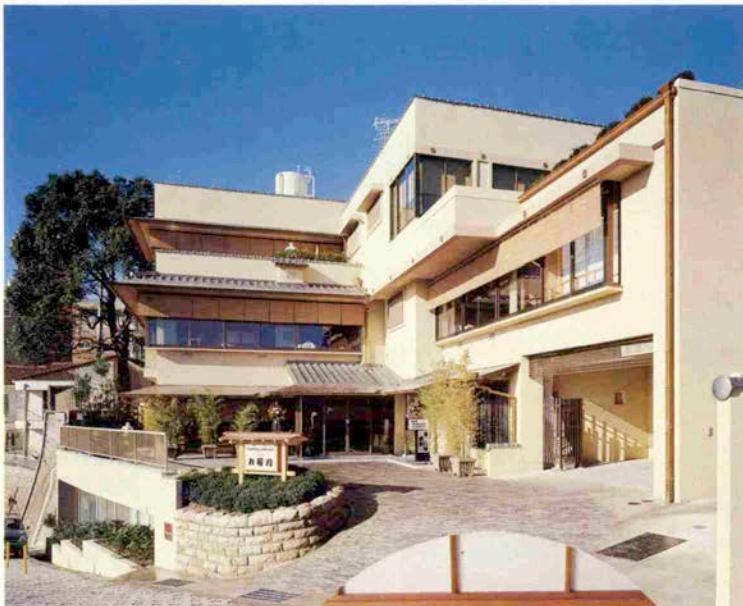
ラウンジレストラン
コンパス
箕面区二宮町3-12 大西ビル2F
242-1236

S N A C K S H A N G R I L A
生田区中山手通1 マリンビル1F
391-8941
グランプリ・中山手通1 ニュー友蔵ビル2F
391-4406

★KOBE PLAY GUIDE MAP★

神戸のうまいもんとドリンクキング





新年あけまして
おめでとうございます

異人館のある街北野町より

生まれたばかりの愛の言葉を噛みしめて、
花の香りに酔いしれていたい。

★花と緑につつまれたヨーロッパ感覚の街づくり

窓辺の淡い陽だまりの中で、読みかけの詩集に
心をときめかせたり、編みかけのセーターにチャレンジする——。
そんなゆったりとした昼下りのひとときが、ここ〈日生・鈴蘭台ニュータウン〉にはじまります。
まるでヨーロッパにでもいるみたいな花と緑につつまれたコンチネンタル調の街——。
よりファッショナブルな暮らしを願って、星和グループが目指す理想のコミュニティです。

日生 鈴蘭台
ニュータウン

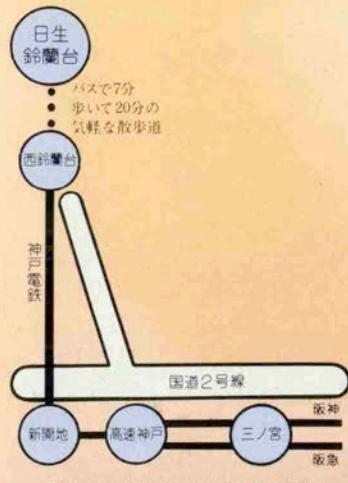
■建設大臣免許(4)165号 / 社不動産協会会員
 **星和住宅**
元日生住宅

〒541 大阪市東区高麗橋1丁目4日生高麗橋ビル3階
TEL 06(202)5741(代)

●この広告についてのお問い合わせは 神戸分局〒650神戸市生田区三宮町1丁目(さんプラザビル3階) ☎ (078) 391-6696~8まで

■建設大臣免許(4)33号 / 社不動産協会会員
 **星和地所**
旧 日生不動産

〒533 大阪市東淀川区山口町325番の1
TEL 06(323)8441(代)



三ノ宮から電車で40分 車で20分





謹賀新年

昭和五十三年 元旦



LEOPARD

レオパルド

生田区中山手通2 東門ダイワナイトプラザ6F
☎ 391-0992・2125 第3日曜休



食べて飲んで……と愉快な仲間が集まって、マスター やママとの楽しい会話のある素敵なポイント——ノンノン

スナック & 喫茶
ノンノン

須磨区月見山本町2 山電月見山駅南隣

☎ 734-7676 火曜休



開店一周年(11/15)を迎えるWヤングさんの一日店長で…
二年目のステップを踏みだしました。本年もよろしく。



SNACK & NIGHT SPOT

ラベコンスタンタン

生田区中山手通1 マリンビル地下
☎ 332-1019 PM 7~AM 1 日曜休(祭日は営業)

● あけまして おめでとうございます

A HAPPY NEW YEAR

KOBE NIGHT

●本年もどうぞよろしくお願ひいたします



ゆったりとくつろいだ気分になるあなたの憩いの場——
グランプリ。姉妹店シャングリラと共にどうぞよろしく

グランプリ

生田区中山手通1 ニュー友藤ビル2F

☎ 391-4406



あけましておめでとう。あなたと私のバックステージを
今年もどうぞよろしく。新年は3日から営業しています。

Piano Hall BACK STAGE

生田区三宮町1 さんプラザ10F サンロイヤル

☎ 332-0230 第1、3月曜休

Coffee Time 11:00~6:00 whisky Time 6:00~12:00



ドイツ音楽を聞きながら楽しくドイツ料理をめし上って
いただくお店。ドイツビールにドイツワインをどうぞ。

Heidelberg

ハイデルベルク

生田区山本通2丁目 ローズガーデン2F

☎ 222-1424 水曜休



阪本完二の唄とハモンド、そしてアルティックのスピーカーから流れるビートに乗って貴方も素敵なパーティを



LOUNGE 羅針盤 コンパス

芦合区二ノ宮町3 大西ビル(海皇)2F

☎ 242-1236 無休

本神戸肉
レストラン
グリック



メニュー

3F
サーロインステーキ
(サラダ付) ￥3,500
ステーキディナー
(スープ、サラダ、ステーキ
パン、デザート、コーヒー)
￥4,500

2F

焼肉定食
(味噌汁、香の物、ライス
付) ￥600
サーロインステーキ
￥980



KOBE BEEF
RESTAURANT

GLÜCK

生田区元町通1丁目9番1号(国鉄元町駅東口浜下る・鯉川筋) ☎(078)(2F)332-6258 (3F)332-6260 11:00A.M.~9:00P.M.





シチューhaus



生田区三宮町3-7
三沢ビル2F
☎ 331-5335

仕事ランチメニュー、午後の香氣あふれるコーヒー、夜のエレガントな食事...と我が家のような雰囲気。
ロバートブラウン / キープ3,500・水割300 キリンビール(小)350
11:00AM~11:00PM 無休



生田区加納町4-1-67
津守ビル地下
☎ 332-0021

昨年11月に開店した静かで落ちついた店。酒の味わいを楽しみながら語り合ふひとときひたってみよう。
ロバートブラウン / キープ7,000・水割500 キリンビール(小)500
5:30PM~0:30AM 無休

A Happy New Year



喫茶・スナック

シェ・モワ

兵庫区塚本通6-2-5
国鉄兵庫駅山側
☎ 577-7088

夜6時まではティータイム。明るくて若さいっぱいの雰囲気。可愛いいママがいらっしゃる店を楽しんでいます。
ロバートブラウン / キープ5,000・水割400 キリンビール(中)400
7:30AM~11:00PM 無休



SNACK—MASUMURA

魔巣群

箕面区布引町4-1
国鉄三宮駅山側バス通り
☎ 221-8944

開店して20年。これを機に改装して一新。ますます楽しい店。4時までは喫茶・軽食(コーヒー200円)
ロバートブラウン / キープ5,500・水割500 キリンビール(小)500
5:00PM~0:00AM 無休



PUB &
RESTAURANT
UPLANDS

生田区加納町3丁目
1-34
☎ 241-8271

JAZZ CLUB
SATIN DOLL

生田区中山手通1丁目57
富士産業ビル1F
☎ 242-0100



WINE & RESTAURANT
酒夢猫

生田区中山手通1丁目76
神戸酒販ビル2F
☎ 332-3308

A HAPPY NEW YEAR

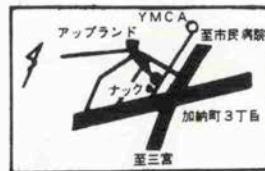
DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32
WOODHOUSE 山内ビル
☎ 241-7320-7983



☆あけましておめでとうございます 1978年元旦

神戸のシンボル、「風見鶴」も新年の朝日にキラキラと輝いています。今年もエキゾチックな神戸の魅力がたくさんのお客を呼ぶことでしょう。そして、ここ「アップランド」は新年第1日目から安い英国風パブの楽しさがいっぱいです。年始まわりでおとそ気分でいい気持ちになつたいつもの面々。ふだんとは見違える振袖姿の彼女、粋な若衆といつたふぜいの彼。店の中もいつもよりズットズット華やいで見えます。昨年一年、ずい分とたくさんの人が“アップランド”を訪れ、新しい仲間ができたり、チャーリーのファンになりました。今年はぜひあなたも“アップランド”で新しい仲間を見つけて下さい。

☆ポーカーソーセージ￥900 シェバーズパイ￥1,000 ステーキ&キドニイパイ￥1,000 フィッシュ&チップス￥750 コーニッシュバースティ￥800 プロス（ウェールズ風シチュー）￥900 ヘレスステーキ￥2,800 J&B、G&G、OLD 各￥500 ビール￥400 フィズ￥600
5:00PM～3:00AM 日曜祭日6:00PM～3:00AM 無休
1/10, 11, 12は休みます。



アップランド

KOBE EATING & DRINKING GUIDE



サテンドール

☆明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお引き立ての程お願い申し上げます。

今年も神戸にジャズが響きます。その震源地サテンドールでは、内外のジャズメンを招いて皆様の期待にそえるよう企画中です。

月～土 ハウストリオ（渡辺健蔵(b)近秀樹(p)岩本龍夫(ds)）

毎週水曜日はハウストリオ+ロミ伊藤(vo)

毎週日曜日は森宏トリオ、田代泰之トリオ、池田裕志トリオ、西山満トリオら関西のジャズメンの演奏。

サテンドールでは新年パーティの予約を承っております。（10～40名様で、一人3,500円より。軽食付。フリードリンク）

☆ビール￥400 水割(OLD)￥500 おつまみ￥200 スパゲッティ、ピラフ各￥500 キーブG&G￥6,000 レギュラースコッチ￥7,000

平日5:00PM～4:30AM 日曜5:00PM～0:00AM 第1・第3日曜休み
6:00PM～4:00AM 無休

私はイタズラっぽい仔猫ちゃん / アバンチュールがほしくって

夜の神戸のネオン街 / 金色の目輝かせ

恋をしたけどまた片想い

北風つめたく吹く夜は / ふるえる身体で泣いてます

貴男の暖かい胸の中 / そっと抱かれてねむりたい

月が微笑む窓あかり / 今宵は霧笛もさびしそう
星を見つめて待ってます / 貴男来るのを待ってます

と、キュートな名前で昨年11月に誕生した
ワイン＆レストラン 酒夢猫



シャムネコ



ウッドハウス

☆ハッピー・ニュー・イヤー！ 新しい年がやってきました。“ウッドハウス”新年の顔が勢揃いしました。それでは一同揃ってごあいさつ。

「あけましておめでとうございます！ 本年もよろしくお願い申しあげます」

あいさつが済めばさっそく店の中へ！ 新しい年の飲みぞめはビールか、ウイスキーか、はたまたオレンジジュースか、純生ミルクか……。とにかく思い思いにグラスをとって、乾杯！ ウン、これで今年一年うまく行くぞ！」

☆ビール(小)￥400 水割(OLD)￥500 おつまみ￥200 スパゲッティ、ピラフ各￥500 キーブG&G￥6,000 レギュラースコッチ￥7,000

平日5:00PM～4:30AM 日曜5:00PM～0:00AM 第1・第3日曜休み